

条件4：ネーミングを工夫しよう

〇〇係という名前も悪くはありませんが、できれば一工夫がほしいものです。係以外にも、『友の会・会社・同好会・研究所・クラブ・隊・チーム・組合』などがあることを教えるだけでいいのです。子どもたちは自分たちでいろいろ考えるようになります。

※ここで一言。

係名を「会社」としたときにはちょっと注意が必要です。

「会社」というイメージから、子どもたちの中には「社長」や「部長」などの肩書きにこだわったり、リストラなどの社会用語を持ち出す子どももいます。

条件5：人数制限をしない…競争原理を生かして

条件2と同じことですが、係の所属人数を制限しないことを勧めます。その係に希望者が多いということは、その活動に魅力を感じている証拠です。それだったら、入りただけ入らせるようにした方がいいと思います。人数が多くなれば、当然活動がしにくくなります。子どもたちが困ったところにトラブルが発生します。それをチャンスととらえ、どうすればいいかを考えさせればいいのです。

条件6：教師の願いを係活動に

子どもたちに係づくりを任せるだけでなく、教師からもその思いを語ります。朝の歌をさせたかったら、「歌のお世話をしてくれる係があったらいいね」というようにです。係活動の経験が豊かな子どもたちの場合は問題ありませんが、係と当番を同じものだと誤解している子どもたちの場合には、教師からある程度の情報を流してやるのが大切です。

2 運動会や学芸会を学級づくりにどう生かすか～夏の学習会より

下関市立名池小学校 梶田崇晴

8月26日（水）13時30分より、下関市勝山公民館にて、山口学級活動ネットワーク恒例の夏の学習会を行いました。テーマは「二学期の学級づくりを考える！～そのスタートに当たって何をどう仕掛けるか」

その内容は、次の2つを行いました。

- 1 2学期スタート時の係活動や話し合い活動
- 2 運動会や学芸会（学習発表会）を学級づくりにどう生かすか

今回は、2の「運動会や学芸会を学級づくりにどう生かすか」を紹介します。

2学期のメインはやはり運動会や学習発表会などでしょう。これらの行事の後、学級が乱れるということがよくあると言われています。その原因として考えられるのは、次の3つだと考えます。

*子どもたちのがんばりが、一部の子どもに片寄る傾向があること

- *そのため、そのがんばりが空回りしてしまうこと
- *そして、行事が終わった後、バーンアウトしてしまう子どもたちがいるということ

ここで言えるのは、子どもたちの中に「これがんばることで、自分たちの学級がよくなるというイメージ」があったのか、ということです。

さらに、教師の本気度はどのくらいだったか？

- …「めんどろ」「早く済ませてしまおう」そういう思いはなかったか？
- これで、子どもを伸ばそう、学級をよくしようと思えるか？

◇子どもの思い

- *事前が大切…子どもの思いを深める、生かす
- *何のために？ 誰のために？…目的意識・相手意識を大切に
- *これでどれだけの人を感動させられるか…成功するイメージを大切に
- *児童会の積極的な参画を

◇演出の工夫

- *どうしたら効果的か？
- 教師のセンス・遊び心が問われる
- いかにおもしろがって（楽しんで）事に当たるかが大切
- 失敗を恐れずに挑戦する
- 子どもの本気を100%肯定する雰囲気为学校に作ろう

運動会を例にして

◇「すでに準備されたものに取り組む」という消極的参加から、「自分たちでつくっていく」という積極的参加に転換する必要がある。

そのために…

- 1 児童会活動との関連を重視し、子どもたちが自分たちの学校生活の充実と向上を目指して行う活動として、できる限り子どもたちが自主的・実践的な活動を展開できるようにしていく。
- 2 学級内に、運動会にかかわる組織づくりを行い、一人ひとりが積極的に取り組んだことが今後の学級づくりの一環として生かされるように活動を仕組んでいく。
- 3 子どもたちが活動に意欲をもって参加できるように、活動の過程が子どもたちに意識できるようにし、常に自分たちの活動を振り返りながら進めていけるようにする。また、一人ひとりを褒め励ますことによって、役割体験（役立つ喜び）や貢献体験（支え合う喜び）を保障する場を位置づける。

最後に「運動会の流れを自分のものとする」ために「運動会ノートづくり」の紹介をしました。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第82号は、9月中旬ごろ発行予定です。
次号も、引き続き「元気が出る学級づくり」についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は243名です。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のようなテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

みなさんも、ぜひ以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

ネットワーク編集部に新しい仲間が増えました。萩市立椿西小学校の福永先生です。柔らかい頭でいろいろなアイデアを出してもらえそうです。

＝＝＝
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（下関市立名池小） 津村元文（美祢市立伊佐小）
吉田哲朗（山口大学附属山口小） 西田智行（下関市立垢田小）
福永博一（萩市立椿西小）

＝＝＝